

秘書官

内閣閣甲 八八号

昭和十二年五月十三日

内閣書記官長 大橋 八郎



昭和十二年五月拾四日接受

簿紙添付

外務大臣 佐藤 尚武 殿

今般第一線ノ各種行政事務ノ刷新ヲ圖ル爲別紙要綱ニ依リ來ル六月
一日ヲ期シ一齊ニ之ヲ實施スルコトニ閣議決定相成候條實施方可然
御配意相成度依命此段及通牒候



第一線ノ行政事務刷新方策要綱

一、趣旨

現下ノ時局ニ對處シ、舉國一致國運ノ進暢ヲ期センガ爲ニハ、政治ノ刷新行政ノ改善ヲ圖ルヲ要スルコト言テ俟タズ、而シテ先ヅ國民大衆トノ接觸部面タル行政事務ノ第一線ニ於テ民衆ノ利便ヲ圖リ眞ニ融合協力ノ實ヲ舉グルハ極メテ緊要ノ時務ナリ、仍テ其ノ具體的方策トシテ左ノ通り實施セントス

(註) 一、「第一線ノ行政事務」トハ中央各省タルト地方各官

公署タルトヲ問ハズ、民衆ニ直接スル行政事務ヲ云

フ

一、各官公署ノ所管ニ屬スル施設(例ヘバ商品陳列所、

何々獎勵館ノ類)ニ於テモ官公署ニ準ジテ行フ

二、基調

(一) 第一線ノ行政事務刷新ハ之ニ依テ從來民衆ガ官公署ニ於テ浪費シタル時間又ハ費用等ヲ民衆本來ノ仕事ニ振向ケ、國民生活ノ充實發展ト國力ノ綜合的躍進ヲ期スルコト

(二) 第一線ノ行政事務擔當者ハ眞ニ公ニ奉ジ國民ノ福祉ノ増進ニ寄與スヘキ任務ヲ自覺シ副期的ナル行政事務ノ刷新向上ヲ圖ルコト

(三) 第一線ノ行政事務擔當者ノ監督者又ハ第一線ノ行政事務擔當官ニ公署ノ上級行政職ニ於テハ自ラ範ヲ示スト共ニ、第一線ノ行政

事務刷新ヲ容易カクシムル様積極的ニ協力スルコト

(四) 第一線ノ行政事務擔當官公署ニ於テ公國民ノ意見要望ヲ充分ニ斟酌シテ其ノ不便ノ除去利便ノ増進ニ努ムベキコト

(五) 一般國民ニ對シ第一線行政事務ノ内容手續等ヲ極宜ノ方法ニ依リ平易ニ徹底セシメ其ノ理解ト協力トヲ求ムルニ努ムベキコト

(六) 第一線ノ行政事務ハ親切ヲ旨トスベキモ徒ニ民衆ニ迎合スルノ弊ニ墮セザル様留意スルコト

三實施太綱

(一) 第一線ノ全官公署ハ各實情ニ即シ刷新改善ヲ要スル事項少クトモ一ヶ月ニ定數事項ニ集中シテ自治的ニ改善ヲ實テ舉グルコト

右實施事項及其結果ヲ向フ一ヶ月毎月末各本省ニ報告スル

コト

各本省ハ右報告ノ大綱ヲ内閣官房總務課ニ報告スルコト

(二) 各廳ハ其ノ廳所管第一線ノ官公署ヲシテ勵行セシムベキ事項ヲ定メ之ガ勵行ヲ求ムルコト

右勵行事項及其ノ結果ヲ内閣官房總務課ニ報告スルコト

(三) 第一線ノ行政事務官公署ノ上級廳ハ第一線ノ官公署ノ實施ニ即應シテ刷新改善ヲ要スベキ事項ヲ決定シ之ヲ實施スルコト

右實施事項及其ノ結果ヲ内閣官房總務課ニ報告スルコト

(四) 關係各廳ノ聯合ニ依リ中央地方ニ於テ第一線行政事務刷新ノ爲メノ講習會、座談會、協議會ヲ開クコト

参考

第一線行政事務刷新ノ爲實施スベキ事項例

一、第一線行政事務擔當者ハ公衆ニ接スルニ威權ヲ濫用セズ謹慎懇切ナルベキコト

(例)

(イ) 質問者ニハ丁寧ニ説明ヲ與フルコト

(ロ) 善意ノ公衆ヲ叱責セザルコト

(ハ) 公衆ト口論セザルコト

(ニ) 申告ハ誠意ヲ以テ聴取スルコト

三、一般ニ事務ノ簡捷ヲ圖リ迅速ヲ旨トスルコト

(例)

(イ) 願届手續等ハ努メテ之ヲ簡易化スルコト

(ロ) 一般公衆ニ對スル照會、回答、指示等ノ用語ハ努メテ平易ニ

シ、場合ニ依リ口語文ヲ用フルコト

(ハ) 願届手續、照會回答等ハ努メテ迅速ニ之ヲ處理スルコト

三、手續等ニ關シ國民ニ經濟的負擔ヲ掛クルハ最少限度ニ留ムル様努ムルコト

四、官公署ニ於テ一般公衆ノ呼出ヲ爲ス場合ハ努メテ一般公衆ノ便宜ヲ考慮スルコト

(例)

(イ) 出頭ヲ求ムルハ已ムヲ得ザルトキニ限り、電話又ハ書面ヲ以テ之ニ代フルコト

(ロ) 已ムヲ得ザル場合ノ外代人ヲ認ムルコト

(ハ) 出頭時刻ハナルベク本人ノ都合ニ委スコト

(ニ) 時刻ヲ指定シタルトキハ長時間待合セテ爲サシメザルコト

五、一般ニ民衆ニ對シ努メテ便宜ヲ供與スルコト

(例)

(イ) 官公署事務ノ内容、取扱手續等ヲ具體的ニ分リ易ク周知セシムル爲適切ナル方法ヲ講ズルコト (例ヘバ冊子トシテ配付ス)

(ロ) 窓口事務取扱時間ノ延長、休日ノ繰替又ハ日曜ノ半日執務等ヲ爲シ一般民衆ノ利便ヲ圖ルコト

(ハ) 願届用紙ヲ作製シ希望者ニ分與ス此ノ場合費用ヲ要スレバ實費ヲ以テ受付ニテ販賣ス

(ニ) 願届等ヲ自書シ難キモノニ對シテハ許ス限り代書シ與フルコト

(ホ) 案内係ヲ設置スルコト

六 當務者ノ事務改善研究会ヲ設クルコト

注意

次官

主信	
附甲	
附乙	
附丙	
附丁	
備考	A門5欄0組0区

文書課長 岩田

文書課發 昭和拾貳年五月廿日 發送済

淨書

正校(原稿)

(谷口)

(淨書)

昭和十二年 五月廿七日起草

文書課長 岩田

昭 和 拾 貳 年 五 月 拾 九 日 日 附 附 屬

受 信 人 名

在外

各公館長宛

發 信 人 名

佐藤大臣

記 録 件 名

本邦内政関係雜案

件 名 第一線行政事務ノ刷新ニ関スル件

今般現内閣政綱ノ一トシテ第一線各種行政事務ノ刷新

ヲ圖ルニ別紙要綱ニ依リ来ル六月七日期ニ商ニ之ヲ全國的

外務省

別紙

19 52

注意

次官

主信 附甲 乙丙 丁 屬 備考	15	1	2	0	8
	類	項	目	號	
公文書	現内閣政綱ノ一トシテ第一線各種行政事務ノ刷新 ノ別紙要綱ニ依リ来ル六月ヨリ期ニ至ラザル全國的				
管主	文書課長		昭和三十二年五月廿日 發送済		
任主	機密官		昭和三十二年五月拾九日 日附 附屬		
受信人	在外		昭和三十二年五月拾九日 日附 附屬		
件名	第一線行政事務ノ刷新ノ圖スル件		昭和三十二年五月拾九日 日附 附屬		
發信人	各公館長宛		昭和三十二年五月拾九日 日附 附屬		
記録件名	佐藤大臣		昭和三十二年五月拾九日 日附 附屬		
本邦内閣関係種別	本邦内閣関係種別		昭和三十二年五月拾九日 日附 附屬		

文書課長 林

別紙

19 52

公
信
案

外
務
省

ニ実施スルコトニ同意決定相成タルニ就テハ貴省ノ実情
ニ慮ジ爾當ニ実施方可然ル配意相成度尚要綱中
実施大綱三ノハノ報告モ即実行アリ度シ

別添 一 寫

在外公館表 昭和 年 月 日附

機密合第

號 (總數 一六二)

在英大使館	在倫敦總領事館	◎南 北 米 (三三)	在米大使館	在ロンドン領事館	◎亞細亞南洋 (一九)
在佛大使館	在漢堡總領事館	在米大使館	在プエルトリカ大使館	在ロンドン領事館	在暹羅公使館
在獨大使館	在アンツェルン領事館	在プエルトリカ大使館	在メキシコ公使館	在シアトル領事館	在イラン公使館
在伊大使館	在里昂領事館	在メキシコ公使館	在ベルギー公使館	在シカゴ領事館	在アフガニスタン公使館
在白大使館	在馬耳他領事館	在ベルギー公使館	在チリ公使館	在モントレー領事館	在香港總領事館
在土大使館	在末蘭領事館	在チリ公使館	在アルゼンチン公使館	在オタワ領事館	在河内總領事館
在瑞西公使館	在ストックホルム領事館	在アルゼンチン公使館	在アンタルプ公使館	在オタワ領事館	在新加坡總領事館
在西公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在モンテネグロ公使館	在ハルビン領事館	在カタカタ總領事館
在蘭公使館	在商務局並總領事館	在モンテネグロ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在マニラ總領事館
在瑞典公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在ハルビン總領事館
在ラトヴィア公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在シドニー總領事館
在ポーランド公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在蘇合總領事館
在エストニア公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在ダッカ領事館
在ルクセンブルグ公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在西貢領事館
在ルーマニア公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在關貢領事館
在希臘公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在コロンボ領事館
在ポルトガル公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在孟買領事館
在フランス公使館	在商務局並總領事館	在アンタルプ公使館	在アンタルプ公使館	在サンクトペテルブルグ領事館	在スマタパヤ領事館

◎露 西 亞 (二〇)	◎支 那 (三一)	◎滿 洲 (二九)
在青島總領事館	在南京總領事館	在滿洲總領事館
在坊子出張所	在厦門總領事館	在自坡分館
在張店出張所	在張家口領事館	在綏芬河領事館
在博山出張所	在芝罘領事館	在營口領事館
在漢口總領事館	在蘇州領事館	在錦州領事館
在成都總領事館	在杭州領事館	在安東領事館
在天津總領事館	在蕪湖領事館	在鄭家屯領事館
在山海關分館	在沙市領事館	在滿州里領事館
在長沙領事館	在宜昌領事館	在海拉爾領事館
在重慶領事館	在汕頭領事館	在赤峰領事館
在鄭州領事館	在雲南領事館	在承德領事館
在汕頭領事館	在中國商務局並總領事館	
在延吉分館		
在頭道溝分館		
在新京總領事館		
在扶餘分館		
在齊齊哈爾總領事館		

昭和十二年一月現在

文書課

公普通第二四八號

昭和十二年六月九日

在新京

總領事代理 柴崎 白



外務大臣 廣田 弘毅 殿

第一線行政事務ノ刷新ニ關スル件

本件ニ關シ五月十九日附文普通合第七三四號貴信御來達ノ趣敬承仍テ當館ニ於テハ六月中實施事項左記ニ定メ刷新改善ノ實ヲ舉クルコトトセリ

記

一、實施事項

行政事務擔當者ハ公衆ニ接スルニ威權ヲ濫用セス町寧懇切ナルヘキコト

在新京日本總領事館

昭和十二年七月拾九日接受

二、結果

第一線行政事務刷新改善ニ關シテハ從來共機會アル毎ニ館員ニ對シ訓示シ之レカ實行ニ努メ來タレル所ナルカ今般ノ御訓達ニ基キ特ニ館員一同ニ對シ御趣旨ヲ徹底セシメ上記實施事項ノ刷新改善ニ資スル所アリタルヲ認メタリ

在新京日本總領事館

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 會計 秘書官

寫送先

昭和12 一一〇九二 略

濟南 十二日前發
本省 六月十二日後着

情、亞

廣田外務大臣

堀内總領事

第一二二號

十一日民國日報ノ「日本政治ノ前途」ト題スル社説要旨御參考迄左ノ通り

近衛内閣ハ議會政治ト軍人政治トヲ調和スル上ニ於テ適當ナル人選ト認メラルルモ最近日本軍部ノ擡頭ヲ抑ヘル丈ケノ力ヲ期待シ難ク既ニ企畫廳問題ヲ繞リ其ノ破綻ノ一ヲ暴露セリ此ノ内部ノ矛盾ヲ清算スル丈ケノ決心ナキ限り近衛内閣ノ運命ハ樂觀ヲ許サス將來或ハ廣田、林各内閣ノ轍ヲ覆ムモノニハアラサヤ云々
支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

外務省

外務省

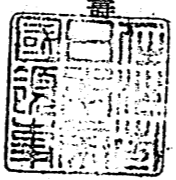
秘書官

普通第一〇七號

昭和十二年六月二十一日

在沙市

領事館事務代理 小 森 喜久壽



外務大臣 廣田 弘毅 殿

第一線行政事務ノ刷新ニ關スル件

本件ニ關シ五月十九日附文普通合第七三四號來信ヲ以テ御來示ノ趣敬承致候尙當館管内在留本邦人ハ御承知ノ通朝鮮人三名ノミナルヲ以テ當館トシテハ目下ノ處實施大綱(一)ノ事項無之ニ付右ニ御諒知相成度此段回報申進ス

本邦内政ニ係ル事
昭和十二年七月七日 據



秘書官

公 第 二 二 九 號

昭和五年六月二日

在アレキサンドリア

領事 黒木時太



外務大臣廣田弘毅殿

第一線行政事務ノ刷新ニ関スル件

本件ニ関シ密川十九日附文書通令第七四号
以貴信臣訓達ノ趣敬承當此ハ在泊邦人ニ因テ
有者ノ小教ナル者メ當館トシテハ十二分ニ便宜ヲ計
リ得器満足シ故ル次官ニテ古ク刷新方策要綱

昭和五年七月十九日接受

ニ準シ故ルモノナルカ
ナス心組ニテ撥當館
中進ス



秘書官

普通公第四四號

昭和十二年六月二十五日

在ニューヨークレアシス

領事 佐藤由己

外務大臣 廣田弘毅 殿



昭和十二年七月拾六日接受

第一線行政事務ノ刷新ニ関スル件

本件ニ関シ五月十九日附貴信文普通合第七三四號ヲ以テ御來訓ノ趣披承然ル處當官管内在留邦人ハ比較的少數ニシテ而モ各地ニ散在シ居ル關係上大衆ニ直接々觸スルコトナギモ諸届手續照會回答等ニ當リテハ第一線行政事務刷新ノ為

在ニューヨークレアシス日本領事館

實施スヘキ事項例中ノ二四及五等ヲ從來ヨリ實質施シ居當方ニテ此ノ上改善ノ余地ナシト認メラルニ付右ニ御諒知相成度此段報告申達ス
本信尊送付先 在米大使各總領事並各領事

在ニューヨークレアシス日本領事館

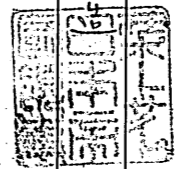
秘書課

公普通テ七七號

昭和十二年六月二十六日

在ポートサイド

領事代理 入野 道



外務大臣 廣田 弘毅 殿

亞米利加局
米三

AS.0.9.1

第一線 行政事務ノ刷新ニ関スル件
 本件ニ関シ 五月十九日 時文普通 合テ七三四
 號 貴信ニ以テ 御訓達ノ 趣 敬承 当館ニ於
 テ 石ニ該當スル 事務ハ 船舶 旅券 諸証明
 関係 商業 紹介 関係 並ニ 旅行 者ニ関スル 事
 務ナル 處 石ニ関シテハ 従来 ヲリニ 一層 民衆

在ポートサイド日本領事館

總領 12724 付受

名 件 如所見收妥係事務

昭和十二年七月廿二日接受

ノ 利便シ 計リ 國民 生活ノ 充實 發展シ 期スルニ
 主眼 點ニ 置キ 左記ニ 従テ 之ヲ 實施ニ 努
 カ 可致ニ 付 石ニ 御諒知 相成 度 此段 申進ス
 記

一 船舶 旅券 諸証明 関係 事務

右ニ 関シテハ 当該 領事 官ノ 利益 便利ヲ 專
 ラ 考慮シ 時間 外 執務ニ 勿論 休日 日曜
 等ニモ 必要ニ 應ジ 執務ニ 居レリ 特ニ 船舶
 事務ニ 関シテハ 夜半 早晚ニモ 應ジ 執務ニ
 居ル 次第 ナリ

二 商業 紹介

本邦 人ノ 当地 方ニ 於ケル 市場 調査 取引
 希望 其他ノ 紹介ニ 関シテハ 予テ 當館ニ 於

在ポートサイド日本領事館

調査の結果並ニ蒐集ニ居ル資料ニ基テ又
 必要ニ覺テハ館員シテ實地調査セシメ
 管内ニ勿論ノコトパルスタイアトリスジヨルカ
 其他地方事情ヲモ正確詳細ニ亘リ調査シ
 行ク迅速ニ回答ヲ与ヘ居レリ
 以外人ノ本邦商業紹介ニ関シテハ常ニ本邦
 当業者ヨリ送付越ノカタハ貿易カイレクト
 リー其他見本ヲ閲覧ニ供ニ居リ或ハ
 紹介書簡等ニ関シテハ詳細迅速ニ回答ヲ
 与フル等本邦商權ノ擴張並ニ紹介宣傳ニ
 不断ノ注意ヲ研ヘ居レリ
 ニ旅行名
 当地方ヘノ旅行者ニ對シテハ管内事情ハ

在ポートサイド日本領事館

フレッドヲ作成ニ置キ其ノ閲覧ニ供ニ又ハ
 カ頒布ヲテニ旅行者ノ便宜ニ供スルコトナリ

在ポートサイド日本領事館

秘書官

普通第一三〇號

昭和十二年六月三十日

在ポルトガル國

臨時代理公使大森元一



外務大臣 廣田弘毅 殿

第一線行政事務刷新ニ關スル件

本件ニ關シ本年五月十九日附貴信文普通合第七三四號ヲ以テ御訓達趣敬承當地在留民ハ僅少ナルモ邦人旅行者出入相當有之事情ニ顧ミ特ニ

昭和三年七月廿八日接受 CI

CH

一 國內滞在及出國ニ必要ナル手續可及的速ニ懇切ニ説明シ 當地ニ於ケル無用滞在ヲ避ケシムルコト
二 必要ニ應シ執務時間外ト雖モ應待旅行者ノ利便ヲ圖 ルコト
三 一般邦人旅行者ニトシテハ特殊語國タルヲ以テ出來得ル限り 案内通譯其他ノ方法ニヨリ便宜ヲ供與スルコト
ノ三點ニ留意シ來レル處極メテ満足ナル成績ヲ與ケツツアリ 右報告申進ス

秘書官

普通第一六〇號

昭和十二年七月一日

在ポートランド

領事 鶴 見

外務大臣 廣 田 弘 毅 殿



第一線行政事務ノ刷新ニ關シ報告ノ件

本件ニ關スル御訓令ニ基キ六月中當館ニ於テ實施シタル第一線行政事務ノ刷新改善事項左ノ通り報告ス

イ、質問者ニ丁寧ニ説明ヲ與フルコト

右ハ從來ニ於テモ實行シ來リタル所ナルカ更ニ其ノ徹底ヲ期スル爲各館員ニ對シ内外人ノ別ナク當館ニ出頭又ハ電話書信ヲ以テ質問アル場合先方ノ態度如何ニ拘ラス親切丁寧ヲ旨トスヘキヲ注意

在ポートランド日本領事館

昭和十二年七月卅壹日接受

門ノ類ノ項ノ目

シ之カ實施ニ當レリ

ロ、願届手續等ハ努メテ之ヲ簡易化スルコト

法規上一定ノ形式ヲ要スルモノ以外ノ各種願出事項ハ出來得ル限

リ簡易且便宜取計フコトトシ之ヲ實施セリ

ハ、在留邦人ヨリノ照會事項ニ對スル回答ニハ口語文ヲ用フルコト

在留邦人ヨリノ戶籍法兵役法等ニ關スル問合セニ對シテハ口語文

ヲ以テ回答スルコトトシ之ヲ實施セリ

在ポートランド日本領事館

文書課

普通第一六二號

昭和十二年七月二日

在長沙

領事代理

高井末彦

別紙添付

外務大臣 廣田 弘毅 殿

第一線行政事務刷新ニ關スル件

本件ニ關シ客月十九日附文普通合第七三四號貴信ヲ以テ御來示ノ次第敬承仍テ別紙ノ通り六月分報告書作成提出ス可然御取計相成度シ尙右六月分報告書ニ記述シ置キタル通り當館ハ多數ノ民衆ヲ對照ト

在長沙日本領事館

秘書官

件名 本館内政課係報告書

昭和十二年七月廿三日接受



シテ執務シツ、アル内地行政官廳ト異リ僅ニ在留民百名内外ヲ相手トシテ行政事務ヲ執行シ居ルカ爲自然官民一家ヲナシ居ルノ感アリ其ノ利害休戚ニ就テモ十三分ノ理解ヲ持チ得ル立場ニ在ル關係上居留民ノ精神作興、能率増進ニ就テハ積極的ニ種々ノ方策ヲ講シツ、アリテ御來訓ノ事項中一トシテ從來實行シ來ラサリシモノナキハ勿論更ニ今一步ヲ進メテ積極的ニ働掛ケ居ルカ爲別紙報告書作成ニ當リ改善又ハ刷新シタル事項トシテ記述スル材料ニ乏シク報告作成ニ聊カ困難ヲ感シタルカ既ニ第一回報告作成ノ際ニスラ此ノ感ヲ抱キタル以上今後一箇年間毎月書クヘキ報告ハ勢ヒ同一型ニ墮スル嫌アルヘキニ付別紙報告書中ニ記述シ置キタル事情篤ト御諒察ノ上今後ノ報告書中極メテ簡素ノモ、アルヘキ點ハ豫メ御含置相成度此段回

在長沙日本領事館

報
旁
申
進
ス

在
長
沙
日
本
領
事
館

REEL No. A-0507

0025

アジア歴史資料センター

第一線行政事務刷新改善事務報告

昭和十二年六月分

在長沙日本帝國領事館

一、第一線ノ行政事務刷新方策要綱ニ掲ケラレタル趣旨（行政事務ノ第一線ニ於テ民衆ノ利便ヲ圖リ眞ニ融合協力ノ實ヲ擧グルコト）竝ニ同要綱基調ノ（一）乃至（六）ニ掲ケラレタル事項就中在留民ノ意見要望ヲ充分ニ斟酌シテ其不便ヲ除去利便ノ増進ニ努ムルコト、第一線行政事務ノ内容手續等ニ對スル在留民ノ理解ト協力トヲ求ムルニ努ムルコト、第一線ノ行政事務ハ親切ヲ旨トスヘキモ徒ニ民衆ニ迎合スルノ弊ニ墮セザル様留意スルコト等ノ件ハ勿論同要綱末尾ノ参考事項ノ如キモ總テ當館トシテハ何レ

在長沙日本領事館

モ從來實施シ來レル所ナルハ勿論更ニ今一步進メテ積極的ニ之ヲ實行シ來レルカ故ニ今更事新シク此等ニ關シ改善トカ刷新ト云フカ如キ措置ヲ執ルノ餘地ナキモ政府ノ御趣旨ノ存スル所ハ館員及警察署員一同充分體得シ認識ヲ新ニスル様本省御來調ヲ熟讀セシメ一層ノ效果ヲ擧クル様訓達シ置キタリ

當地ハ在留邦人百名内外ニ過キス其ノ家庭ノ内情ヨリ各人ノ性癖希望、煩悶、健康及精神狀態及業務ノ現況態樣ニ至ル迄第一線官吏トシテ深キ理解ヲ有スルカ爲當館ハ是迄極メテ積極的態度ヲ以テ指導誘掖ニ任シ來リ居留民保健上ノ注意ハ勿論ノコト個々ノ居留民ヨリ相談ヲ持掛ケ來レル場合ト否トヲ問ハス進ンテ其ノ業務及家庭上ノ事務ニ迄立入りテ懇切叮嚀ニ指導鞭撻ヲ加ヘ新規事業

在長沙日本領事館

又ハ新規商品ノ紹介、取引開始ノ段取り及手續等ハ氣付キタル場
合ハ勿論平素ヨリ注意ヲ拂ヒテ教示ヲ要スト認メラル、事項ハ進
ンテ教示シ又青年ノ精神教育、居留民ノ精神作興、能率増進ニ關
シテハ特ニ留意シ在外居留民トシテ國家ニ對スル義務奉公竝ニ奉
仕ノ念ヲ培養セシメ以テ居留民協同一致ノ美風ヲ涵養シ海外貿易
第一線ノ闘士タルノ名ニ恥チサラムル様教化ニ努力シツ、アリ
右當館ノ從來執リ來レル措置ハ官吏トシテ當然ノ義務ヲ果セル迄
ノコトニ過キス此際斯ノ如キ記述ヲ爲スコトハ聊カ手前味噌ニ墮
スル嫌アリ敢テ之ヲ報告書中ニ附記スルコトハ好マサル所ナルモ
御來訓ニ基キ報告書ヲ起草スルニ當リテハ必ラス改善及刷新シタ
ル事項ノ記述ヲ要スルコト、ナリ居ルニ拘ラス殆ト書クヘキ材料

在長沙日本領事館

ナキ爲ルムヲ得ス之ヲ附記シタル次第ナリ何卒御諒恕ヲ請フ

在長沙日本領事館

第一線行政事務刷新改善事務報告

昭和十二年六月分

在長沙日本帝國領事館

一、第一線ノ行政事務刷新方策要綱ニ掲ケラレタル趣旨（行政事務ノ第一線ニ於テ民衆ノ利便ヲ圖リ眞ニ融合協力ノ實ヲ舉クルコト）竝ニ同要綱基調ノ（一）乃至（六）ニ掲ケラレタル事項就中在留民ノ意見要望ヲ充分ニ斟酌シテ其不便ヲ除去利便ノ増進ニ努ムルコト、第一線行政事務ノ内容手續等ニ對スル在留民ノ理解ト協力トヲ求ムルニ努ムルコト、第一線ノ行政事務ハ親切ヲ旨トスヘキモ徒ニ民衆ニ迎合スルノ弊ニ墮セサル様留意スルコト等ノ件ハ勿論同要綱末尾ノ參考事項ノ如キモ總テ當館トシテハ何レ

在長沙日本領事館

モ從來實施シ來レル所ナルハ勿論更ニ今一步進メテ積極的ニ之ヲ實行シ來レルカ故ニ今更事新シク此等ニ關シ改善トカ刷新ト云フカ如キ措置ヲ執ルノ餘地ナキモ政府ノ御趣旨ノ存スル所ハ館員及警察署員一同充分體得シ認識ヲ新ニスル様本省御來訓ヲ熟讀セシメ一層ノ效果ヲ舉クル様訓達シ置キタリ

當地ハ在留邦人百名内外ニ過キス其ノ家庭ノ内情ヨリ各人ノ性癖、希望、煩悶、健康及精神狀態及業務ノ現況態様ニ至ル迄第一線官吏トシテ深キ理解ヲ有スルカ爲當館ハ是迄極メテ積極的態度ヲ以テ指導誘掖ニ任シ來リ居留民保健上ノ注意ハ勿論ノコト個々ノ居留民ヨリ相談ヲ持掛ケ來レル場合ト否トヲ問ハス進シテ其ノ業務及家庭上ノ事務ニ迄立入りテ懇切叮嚀ニ指導鞭撻ヲ加ヘ新規事業

在長沙日本領事館

又ハ新規商品ノ紹介、取引開始ノ段取り及手續等ハ氣付キタル場
合ハ勿論平素ヨリ注意ヲ拂ヒテ教示ヲ要スト認メラル、事項ハ進
ンテ教示シ又青年ノ精神教育、居留民ノ精神作興、能率増進ニ關
シテハ特ニ留意シ在外居留民トシテ國家ニ對スル義務奉公竝ニ奉
仕ノ念ヲ培養セシメ以テ居留民協同一致ノ美風ヲ涵養シ海外貿易
第一線ノ闘士タルノ名ニ恥チサラシムル様教化ニ努力シツ、アリ
右當館ノ從來執リ來レル措置ハ官吏トシテ當然ノ義務ヲ果セル迄
ノコトニ過キス此際斯ノ如キ記述ヲ爲スコトハ聊カ手前味噌ニ墮
スル嫌アリ敢テ之ヲ報告書中ニ附記スルコトハ好マサル所ナルモ
御來訓ニ基キ報告書ヲ起草スルニ當リテハ必ラス改善及刷新シタ
ル事項ノ記述ヲ要スルコト、ナリ居ルニ拘ラス殆ト書クヘキ材料

在長沙日本領事館

ナキ爲レムヲ得ス之ヲ附記シタル次第ナリ何卒御諒恕ヲ請フ

在長沙日本領事館

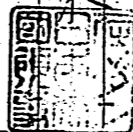
秘書官

公第 一 二 〇 號

昭和十二年七月三日

在メダン

領事 米垣興業



外務大臣 廣田弘毅 殿

第一線行政事務、刷新ニ関スル件

本件ニ関シ本年五月十九日附文普通令
第七三四號 貴信御下命、次第有之、處從
來當館ニ於テハ右貴信御來示、趣旨ヲ實行
シ在留民ヨリ各種規程會願届事項等ハ可久
約迅速懇切ニ處理ニ來リ居ルニシテ願
用紙

在メダン日本領事館

昭和十二年七月廿日 接受

分與代書等ヲモ實行中ナルニ付 右諸承相成
度此段報告申進ス

在メダン日本領事館

秘書官

昭和十二年七月拾九日接受

普通第五〇號

昭和十二年七月五日

在 扶 餘

分館主任 中 村 正



文書課

外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

第一線行政事務ノ刷新ニ關スル件

五月十九日附文普通合第七三四號貴信御來達ニ基キ當館ニ於テ六月
中實施セル行政事務刷新改善事項及其結果左記ノ通報告申進ス

記

一、刷新事項

第一線行政事務擔當者ハ公衆ニ接スル權威ヲ濫用セ
ス謹慎懇切ナルヘキコト

在新京日本總領事館扶餘分館

- (イ) 質問者ニハ町率ニ説明ヲ與フルコト
- (ロ) 申告ハ誠意ヲ以テ聽取スルコト
- (ハ) 善意ノ公衆ヲ叱責シ恐怖心ヲ抱カシメザルコト

二、結果

當館ハ管下本邦人僅少ニシテ從來共常ニ領事館ヲ中心ニ信賴シ
來リ居ル所ナルヲ以テ更ニ當館警察官ニ御來示ノ趣旨ヲ徹底セ
シメ事務ノ刷新改善ヲ圖リ益々在留邦人ノ官憲信倚心向上ニ資
スル所アリタルヲ認メタリ

在新京日本總領事館扶餘分館

外務省

南阿公第一六九號

昭和拾貳年八月拾四日接

昭和拾貳年七月六日

在「ケープタウン」

領事太田知



外務大臣 廣田 弘毅 殿

行政事務刷新ニ関スル件

本件ニ関シ五月十九日付文普通合第七三四號貴信ヲ以テ御申越、是處當館ニ於テ、從來ヨリ在留邦人、邦人旅行者ニ對シテ、勿論一般外國人方面ニ對シテモ、常に親切丁寧ヲ以テ居リ從ヒテ一般ニ充分ナル満足ヲ與ヘ居ルモノニシテ御來示ノ趣旨ニ依リ殊更改善ヲ

在ケープタウン日本領事館

要スヘキモノ無之ニ付右御ノ相成度

在ケープタウン日本領事館

第一線行政事務刷新並改善事項

一、署内ノ民衆ニ對スル取扱方改善

(一) 實施事項

- 1、玄關内ニ新ニ案内係ヲ置キ民衆ノ便宜ヲ計リツツアリ
- 2、來署ノ者ニ對シテハ先ニ用向ヲ尋ネ必要ノ指示ヲ與フ
- 3、電話掛リタル際ハ先ツ我方ヨリ官氏名ヲ告ケ親切丁寧ニ應答ス

- 4、當館及警察ニ於テハ願届書類及各種諸證明ノ用紙ヲ受付ニ備付ケ無料給與シ以テ當事者ノ便益ヲ計リ萬一自書シ能ハサル者ニ對シテハ受付又ハ係員ヲシテ代書セシム
- 5、提出書類ニシテ訂正ヲ要スヘキ事項ハ代書人ヲ煩ハスコトナク受付ニテ訂正受理セシム

(二) 結果

民衆ノ不便ヲ除去スルト共ニ當館及警察署ニ於ケル親切ナル取扱振リヲ感得セシメツツアリ

在吉林日本總領事館

吉林邦内政系録雜録

昭和三年七月九日

秘書官

公普通第二四〇號

昭和十二年七月七日

別紙添附

在吉林
總領事代理 中野高



文書課

外務大臣 廣田 弘毅 殿

第一線行政事務ノ刷新ニ關スル件

本件ニ關シ本年五月十九日附文普通合第七三四號貴信御來訓ノ次第有之敬承右ニ關シ當館及警察署並磐石分署ニ於テハ管内ノ實情ニ即シ別添ノ通り刷新改善ヲ要スル事項ヲ定メ實施中ナルニ付此段報告申進ス

在吉林日本總領事館

三、願届人ニ對スル取扱方改善

(一) 實施事項

- 1、他署管内ヨリノ已人の説諭、調査願等ハ他署ニ示達回答方囑託ヲ爲サス直接願出人ニ回答ス
 - 2、營業許可證其他交付書類ハ關係者ヲ呼出ス事ナク受持巡査巡邏ノ際本人ニ交付又ハ示達セシム
 - 3、居住、轉居届用紙ヲ受持巡査巡邏ノ際常ニ携帯、希望者ニ交付セシメ或ハ自筆不能ノ者ニ對シテハ其場ニテ代書シ受理ス
- (二) 結果
- 1、説諭、調査願等ノ回答ヲ直接本人ニ郵送回答スル爲メ警察署ニ呼出サレル等ノ事ナキヲ以テ民衆ノ利便尠チカラス當署ニ對シ謝狀ヲ寄セタル者相當アリ
 - 2、從來兎角勵行セラレサリシ諸届ハ民衆ノ便益ヲ圖ルト共ニ勵行確實トナリ警察能率ヲ増進セリ

在吉林日本總領事館

三、民衆ノ呼出ニ對スル改善

(一) 實施事項

- 1、呼出狀ニハ成可時間ヲ制限セス本人ノ都合好キ時間ニ出頭スルコトトセリ
 - 2、呼出ニ際シテハ係員ノ氏名ヲ押印スル等明瞭ニシ置キ出頭ノ際惑カサル如クセリ
 - 3、呼出ニ際シテハ其ノ用件ヲ明瞭ニ示シ時間ハ最少限度ニ止メ空費セサル様實施ス
 - 4、本人ニ限ラサル場合ハ代人ヲ可成認ム
 - 5、所在地ハ可成電話ヲ利用シ示達調査其他ヲ解決ス
- (二) 結果
- 民衆ノ蒙ル不便除去、利便供與尠チカラサルモノト認メラル

在吉林日本總領事館

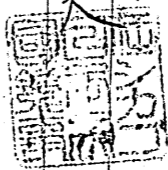
秘書官

普通第一二九號

昭和十二年七月九日

在シカゴ

領事 榎谷秀夫



外務大臣 廣田 弘毅 殿

第一線行政事務刷新に關する件

本件に關し五月十九日附文普通合第七三四號
ヲ以テ御訓令ノ趣敬承 尙館ニ於テハ從來共
一般公衆ニ接スル第一線行政事務ハ懇切且
迅速ニ處理ニ當リ 努メテ便宜ヲ計リ居ルハ
第一ニシテ此ノ際特ニ改善ヲ要スト認メラル、

在シカゴ日本領事館

本邦内政関係事務
昭和十二年八月四日 接受

事項ナキニ御訓令ノ趣旨ニ則リ今後共一
層本件勵行ニ努カスルコト、改スヘシ
取報告申進ス

在シカゴ日本領事館

秘書官

普通第一八五號

昭和十二年七月十三日

在

博山

副領事

橋本

正

康



外務大臣 廣田 弘毅 殿

第一線行政事務ノ刷新ニ關スル件

本年五月十九日附文普通第七三四號御趣旨ニ基キ第一線行政事務ノ刷新ヲ計リツツアルカ當該事務擔當ニ關シテハ從來常ニ全館署員國運ノ進暢國民大衆ノ利便ヲ圖リツツアリタルモノニシテ管内在留邦人涉キ當館ニ於テハ民衆カ當館ニ於テ浪費シタル時間費用

在濟南日本帝國總領事館博山出張所

昭和十二年七月廿壹日接受

邦内政ニ係リ

文書課

等從來誠ニ稀有ニシテ第一線行政ニ屬スル願届等民衆ヨリ當館ニ對スル手續ハ受付係員ニ於テ平明懇切ニ其内容手續ヲ了解セシムルニ努ムルト共ニ在留邦人ト係員トハ平常熟知ノ間柄ナル等ヨリスルモ徒ラニ善意ノ公衆ヲ叱責シ或ハ之ト口論スル等ノコトナク願届ニ對スル當館ヨリスル照會回答許可不許可ノ決定等ハ迅速ニ之ヲ處理シ可成國民ノ經濟的負擔ヲ輕カラシムル裨努メ居レルカ六月中刷新改善事項左ノ如シ
一 在留邦人ノ願届出ヲ爲ス者ニ對シテハ諸願届書式ヲ直接民衆ト接スル受付係員ノ傍ニ掛ケ置キ係員ヲシテ願届出人ニ懇切丁寧ニ説明セシムルト共ニ願届出人ニ於テ作製シ難シト認ムルトキハ受付係員ニ於テ代書作製スルコトトセリ

在濟南日本帝國總領事館博山出張所

分類 門類の項目 /

秘書官

普通公第五三七號

昭和十二年七月十六日

在米

特命全權大使 齋藤

外務大臣 廣田 弘毅 殿



第一線行政事務ノ刷新ニ關スル件

本件ニ關シ五月十九日附文普通合第七三四號貴信ヲ以テ御來示ノ趣
敬承然ルニ當館管内在留邦人數僅少ナル關係上直接接觸ノ機會ハ極
メテ稀レナル實情ナルモ諸手續照會及質疑回答等ノ實務ニ當リテハ
從來共「第一線行政事務刷新方策要綱」御記載ノ趣旨ニ依リ實施致
シ居ル次第ナルニ付此段回報申進ス

名件

内政関係雑答

昭和十二年八月拾四日接受 B11

印

秘書官

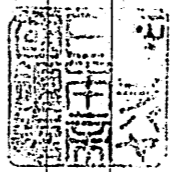
普通第 二〇九 號

昭和十三年七月十七日

在スラバヤ

領事 姉齒 博一

外務大臣 廣田 弘毅 殿



第一線行政事務振り分け報告件

本件、同五月十九日附文普通通合ヲ七三四號行所及
一趣 敬承、仰事、趣、方、官、館、之、於、風、官、行
及、館、之、之、一、官、館、之、市、之、住、宅、区
域、官、館、下、在、之、官、館、之、市、之、在、印、人、之
ナラ、港、下、之、距離、之、印、船、各、所、之、除、船、船、事務
ノ、船、長、等、之、出、頭、之、其、大、之、不、得、不、得、之、

在スラバヤ日本領事館

門 個 の 日 1

多ノ額、ノ、名、費、ア、之、ト、リ、本、官、ハ、昭、和、三、年、一、四、月、以、来
商、業、中、心、地、事、務、所、ヲ、移、シ、外、人、ノ、官、館、之、接、觸
ス、之、ト、ウ、容、易、ナ、ラ、シ、メ、又、一、方、事、務、所、内、ノ、本、官、^室、
一、般、事、務、官、ノ、設、ケ、館、員、之、名、及、住、外、人、一、名、共、ノ、
執、務、シ、外、人、ノ、対、シ、各、負、担、者、事、務、ノ、敏、速、ト、連、絡、
維、持、合、理、化、ト、リ、期、ス、ト、共、ニ、應、接、ノ、態、度、ト、空、平、ヲ、極
メ、居、リ、又、休、日、ト、シ、テ、我、大、外、印、ト、出、資、領、之、於、之、公、休
日、ノ、一、日、館、員、之、日、曜、日、及、公、休、日、ト、シ、テ、時、間、ノ、如、何、
拘、多、ス、意、見、ノ、在、留、印、人、及、登、船、印、船、ノ、便、宜、ノ、為、ニ、大
々、當、該、日、係、事、務、ヲ、取、扱、之、居、ル、カ、ナ、リ
尚、執、務、時、間、ノ、原、則、ト、シ、テ、午、前、九、時、ヨリ、午、後、四、時、迄
ト、シ、重、要、^急、事、務、所、内、ニ、於、テ、大、シ、土、曜、日、ハ、午、後、一、時、
以、テ、閉、館、ス、ル、ト、ナ、シ、居、リ、(尤、モ、例、外、ト、シ、テ、午、前

在スラバヤ日本領事館

本邦内政関係雑貨

昭和十三年八月拾貳日接

八時より午後五時乃至六時迄 執務をこたアリ。
 右ノ如ク當館トシテハ絶エズ進展スル時代ノ要求、名實大
 共ニ順應スル操 努メ居ルコトヲ 差支ルリ 刷新スル
 改革更ニ要スル事 頂テシト致スルモ 序訓令ノ修訂等
 体ニ館員ト共ニ更ニ一故ノ努力ヲ致スルヲ 覚悟ナリ
 右 報告申上ル
 追テ当館員ノ在留邦人ニ対スル懇心管見ニ付先般 在
 フコトトシテ 總領事館管内 在留邦人ニ付 照會ニ付
 説明トシテトカ 該照會者ヲ 感謝セシメタルモノト見エ
 別紙ノ如キ礼状アリトシテ 付一例トシテ 修訂等ニ付 送
 付ス。此般申上ル

在スラバヤ日本領事館

POSTBLAD.

Niets insluiten.
Djangan dimasoeakkan apa².

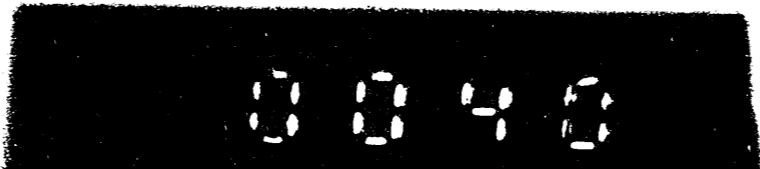


帝國在スバヤ
領事館御中

Comulate
of
Japan,
Soerabaya.

Afzender:

K. Sato
Toko L. Kato
61. 2. 34
Batavia
Semarang



在スウェーデン帝國駐在使館中
翌日再渡航の件に執心 謝意を
申上げました。此早速、管轄邊り交から
意の御明示下さいまして有難うござい
ました。先般官廳方面の事務不熱心を
叫ばれたるは今日誠に心嬉しい御親切
でした。此禮申上げます。
又落様(再渡航に算する手続に
執心詳細に知ることを得まして
安堵致しました。早速、又セマの方へ
打鐘を致しまして歸國仕舞いと
存じます。御煩勞を謝します。
6月25日
スウェーデン市ホナコト街
和藤長次郎商店長
佐藤金作

